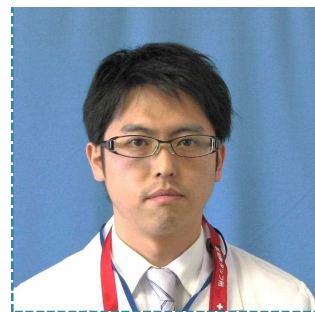


ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ダヴィンチ手術）

3ヶ月が経過しました

泌尿器科医長 増井仁彦



6 月末より前立腺がんに対する根治治療である「ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術」がはじまりました。患者様からしばしば「ロボットが手術をするのですか？」との質問をいただきますが、決してロボットが適宜場面を自己判断して手術を行うのではなく、術者が患者体内へ挿入された「ロボットの手」を遠隔操作することで手術を行います（写真参照）。当院では 2005 年に七里部長が赴任して以来、約 300 例の「腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術」を施行しており、今までの多くの蓄積された知見をあわせてより質の高い手術を日々心がけております。

ロボット支援手術のメリットとして①体内に挿入するロボットの「手」が多関節であること ②術者はモニターで 3D 立体画像を見ながら手術を行えること ③手ぶれ防止機構がついていること、が挙げられます。今まで施行してきた腹腔鏡手術では①「手」の代わりとなる鉗子は単関節であり、②2D 平面画像を頭の中で立体構築して手術を行い、③手ぶれ防止機構はない、ことと比べて、ロボット手術では「非常に繊細な動きが可能」となり、出血・組織損傷が少なく術中の合併症や術後の尿失禁・勃起障害をさらに減らせると考えられます。その反面、デメリットとして①極端な頭低位関連合併症のリスク、②触覚がないこと、が挙げられます。具体的には、眼圧や頭蓋内圧上昇に伴う有害事象が危惧され、緑内障、脳血管障害、心疾患のある患者様の場合は適応を選択する必要があると考えています。また、触覚がないことは手術をする際の情報の一つが欠けることになり、ごくまれにモニター画像外で何らかの臓器を圧迫損傷する危険性が考えられます。

これらメリット・デメリットを認識し安全に手術を遂行するために、「手術支援ロボット」を取り扱う際にはオンラインで操作方法を勉強し、規定のトレーニングを院内や教育認定施設の大学病院で看護師・臨床工学技士とともに受けることが決められています。また、医師にはシミュレーター、動物を使ったトレーニングも課せられます。現在これらをすべてクリアし、認定を受けた医師、看護師、臨床工学技士の固定チームで手術を行っております。

9 月の時点で 7 例施行しましたが、術中・術後トラブルなく皆さん元気に退院されておられます。また、合併症の一つである尿失禁に関しても術後早期に改善を認めており、私たちもロボット手術のメリットを実感しています。

現時点では前立腺がんに対する根治的全摘除術のみが保険適応となっていますが、今後泌尿器科の手術としては腎がんに対する腎部分切除術、膀胱がんに対する根治的膀胱全摘除術などを検討しており、患者様にはさらに安定した質の高い手術を受けていただけるようになると考えております。対象となる方がおられましたら、ぜひご紹介いただければと思います。

泌尿器科医師チーム

左より 平山、増井、七里、濱田



手術の様子

大津市民病院大学リポート

9月9日に第4回目「心療内科の実際～うつ病について～」と題し、前林佳朗（精神・心療内科診療部長）が講義をさせていただきました。

うつ病の原因は、日常生活の中でのさまざまなストレスや性格が関連していると思われ、誰もがかかりうる病気です。

「うつ病」と「うつな気分」とを見分けるポイントや、病気に対する周囲の人の理解。治療には休息と適度な薬物療法が必要であることなど事例もありわかりやすかったと感想をいただきました。



健康講座

10月の開催予定

開催日	テーマ	講師
10月6日(月)	ヘルペスってどんな病気？	末廣 晃宏 (皮膚科診療部長)
10月21日(火)	認知症にならないヒケツ	山田 幸子 (認知症看護認定看護師)
10月28日(火)	消化器がんとうまくつきあう	若林 直樹 (消化器内科診療部長)

最終回

公開講座

大津市民病院 2階外来ホール

○「糖尿病110番」～糖尿病をもっと知ろう～

○11月8日(土) 13:00～16:00 (12:30開場)

第17回総合内科症例検討会を開催しました！

9月4日(木)総合内科症例検討会を開催しました。院内外含め37名の方にご参加いただきました。

総合内科島本医師より、「発熱、頸部リンパ節腫脹を来した若年女性」の症例についてプレゼンテーションがありました。クラミジア感染を契機に壊死性リンパ節炎を発症したと考えられる症例であり、活発な議論が行われました。

本検討会を通して、院内スタッフ、研修医、コメディカルの教育だけでなく、地域の先生方、他院の先生方との交流の機会になることを願っています。

次回は、平成26年12月4日(木)に開催予定にしていますので、多数のご参加をお待ちしています。

NST勉強会のご案内

10月23日(木)17:30～19:00

大津市民病院 9階大会議室

「客観的栄養評価(ODA)と栄養必要量の算出」

前林 佳朗(精神・心療内科診療部長)

※電卓・筆記用具をお持ちください。

10月より「甲状腺エコー」「頸動脈エコー」の予約が取れるようになります。

➡ 甲状腺エコーは、月・木(所要時間 15分程度)で医師が同席します。

➡ 頸動脈エコーは、月～金(所要時間 30分程度)で初診外来受診後検査となります。(同日に診察・検査共予約)

該当される方がおられましたらご利用ください。